

情報活用型授業をつくるヒント集 Ver. 4.0

■イ. 学習課題をつかむ

- | |
|--------------------------|
| イ-1 正解が1つとは限らない学習課題を設定する |
| イ-2 伝える相手を明確にした学習課題を設定する |

■コア・アクティビティ（エ～キ）

エ. 取り扱う情報（手段，内容）
エ-1 映像，新聞，統計，インタビューなど，読み解き甲斐のある情報手段を使う エ-2 視点や立場が異なる情報や，グループごとに内容が異なる情報を用意する エ-3 自分たちや他のグループが収集，整理，表現した情報を対象化する
オ. 情報の扱い方の指導（視点・観点，留意点）
オ-1 情報を収集，整理，表現する際の目的，観点，判断基準 オ-2 ワークシートやシンキングツール，ソフトウェアなどの道具の指導事項 オ-3 信ぴょう性，著作権，個人情報，安全性など活動する際の留意点
カ. 学習活動（時系列，活動単位，道具）
カ-1 収集，編集，発信にかかる時間と流れを見積もる カ-2 個人，ペア，グループなどの活動単位を明確にした情報活用 カ-3 カードや付せん，シンキングツール，表やグラフなど使用する道具の検討
キ. 情報活用を深める・高め合う（場，手立て）
キ-1 どんな気づきがあれば学習活動が深まったといえるか キ-2 活動の途中，事後で気づきを促す振り返りや児童生徒の関わりを促す場 キ-3 気づきを学習活動の改善にいかす，自分（たち）の目標設定をする手立て

■導入（ア・ウ）とまとめ（ク・ケ）

導	ア. 意欲・関心を高める
	ア-1 調べてみたくなる現象や出来事を見て，課題意識を持つ ア-2 作品例やその反響などを伝えて，やってみたい気持ちを持つ
入	ウ. 既習事項や経験を確認する
	ウ-1 課題解決に必要な既習の知識や技能，これまでの学習経過を確認する ウ-2 学校や生活での経験を思い出すような映像や資料を見る
ま と め	ク. 学習の成果を確認する
	ク-1 観点やルーブリックにもとづいて学習成果を評価する ク-2 学習課題や成果を伝える相手に立ち返って確認する
	ケ. クラスでまとめる，発展課題を見つける
	ケ-1 クラスで話し合い，分かったことや解決策の共通理解を図る ケ-2 次の単元や家庭学習につながるような問題意識をもつ

※これらの工夫点をすべていかす必要はありません。